

家族会・救う会・拉致議連及び
左藤内閣府副大臣（拉致問題担当）の訪米について

日程：5月2日（木）～5月5日（日）

訪問先：米国（ワシントンDC）

参加者：

（家族会）

横田拓也 事務局長

飯塚耕一郎 事務局次長

（救う会）※4月29日（月）に先乗り

西岡 力 会長

島田洋一 副会長

スーザン古森 在米アドバイザー

（拉致議連）

古屋圭司 会長

山谷えり子 会長代行

渡辺 周 会長代行

原口一博 副会長

松原 仁 幹事長

（政府）

左藤 章 内閣府副大臣（拉致問題担当）

概要：

- ハドソン研究所、日本政府、北朝鮮人権委員会（HRNK）共催の拉致問題に関するセミナーに参加したほか、米国政府要人（国務省、NSC）や米国議会議員等に対し、御家族の切実な思いを聞いていただくとともに、拉致被害者の早期帰国の実現に向けたより一層の連携・協力を働きかけた。

- こうした働きかけやセミナーの開催を通じて、グローバルな課題としての拉致問題の解決に向け、政府関係者や議会関係者、シンクタンク、NGOといった様々なレベルで日米連携が深まったと考えている。

各種面会について

- 左藤内閣府副大臣より、拉致問題に関する日本政府の方針について説明。御家族からの切実な思いを聞いていただきながら、拉致問題の早期解決に向けたより一層の連携・協力を働きかけた。また、米政府要人に対し、今月末のトランプ大統領来日時に拉致被害者御家族との面会を要請した。

【面会先一覧】

5月2日（木）15:30～16:30（於：国務省）

スティーブ・ビーガン米国北朝鮮担当特別代表

※途中、ジョン・サリバン国務副長官が立ち寄り。

5月2日（木）17:25～17:45（於：先方議員事務所）

フレンチ・ヒル下院議員（共和党）

5月3日（金）11:00～12:10（於：ハドソン研究所）

ケネス・ワインシュタイン ハドソン研究所所長

ルイス・「スクーター」・リビー同上級副所長

5月3日（金）14:45～15:20（於：NSC）

マット・ポットェンジャー大統領次席補佐官兼 NSC アジア上級部長

【参考】救う会の面会先：

4月29日（月）午後 マイケル・グリーン CSIS 副所長

4月30日（火）午前 ニック・エバースタット AEI 政治経済分野 Henry Wendt Chair

午後 金聖玟 自由北韓放送代表

スザンヌ・ショルティ北朝鮮自由連合会長

5月1日（水）午前 ブルース・クリングナー ヘリテージ財団上級研究員

昼食 スクーター・リビー ハドソン研究所上級副所長

午後 リチャード・アーミテージ元国務副長官

夕食 ブルース・ウェイン ジョージタウン大学教授

5月2日（木）午前 グレッグ・スカラトー北朝鮮人権委員会事務総長

ハドソン研究所、日本政府、HRNK共催セミナー

- 第一部では、拉致被害者御家族を含めた当事者による「生の声」の訴えを行い、第二部では、米国政府関係者や議会関係者、シンクタンク、NGOといった幅広い参加者による議論を行った。セミナーを通じて、グローバルな課題としての拉致問題の解決に向け、様々なレベルで日米連携を確認した。

【日時】 5月3日（金）9:00～10:45

【場所】 ハドソン研究所（ワシントンDC）

【次第】

◎総合司会兼第一部モデレーター：ニック・エバースタット氏（AEI）

<第一部>

1. 共催者からの挨拶

- ケネス・ワインシュタイン氏（ハドソン研究所所長）
- グレッグ・スカラトー氏（HRNK）
- 左藤章 内閣府副大臣（日本政府）

2. 拉致事案等の被害当事者からの発言

- 横田拓也氏（拉致被害者家族会事務局長）
- 飯塚耕一郎氏（拉致被害者家族会事務局次長）
- ファン・インチョル氏（1969年KAL機拉致被害者家族会代表）
- マイケル・スネドン氏（デービッド・スネドン氏の長兄）
- シンディ・ワームビア氏（オットー・ワームビア氏の母親）

<第二部>

◎第二部モデレーター：ルイス・「スクーター」・リビー氏（ハドソン研究所上級副所長）

3. 参加者からの発言

- 日本国会議員（古屋圭司 拉致議連会長）
- マイケル・シファー氏（上院外交委員会民主党スタッフ）
- ルシ・グリフィス氏（クリス・スチュワート下院議員事務所上級立法補佐官）
- トム・ローズ氏（副大統領上級顧問）
- メラニー・カークパトリック氏（ハドソン研究所）

4. フロアからの発言